

G5の語法記述はこう変わった



柏野 健次

語法研究は英語教育と直結している。研究の成果がそのまま明日の授業にも使えるからである。

私は英語教育においては、「間違っただけを繰り返して教えない」というのが大テーマだと考えるが、このテーマを守るためには、「英語をもっとよく知る」「英語の変化に気づく」という観点からの語法研究が必要不可欠である。

G4の語法欄を改訂するに当たってこの3点を常に心がけたが、以下では1項目ずつ、その具体例を挙げていきたい。

◆英語をもっとよく知る

まず、「…から」という意味を表す *since* と *from* の違いについて考えてみよう。

一般に *from* は *since* とは異なり「正確な特定の時」を表す語句を伴う場合には現在完了形では用いられないと言われる。

- (1) I have been here *since* [×*from*] five o'clock.

ここで *from* を使うには I was here *from* five o'clock (and later I left). のように過去時制を用いなければならない。

ただし、漠然とした時を表す語句と用いられる場合には *from* の使用も可能となる。

- (2) I have known him *from* my childhood.
(3) *From* the day I married her, she has never called me by my first name.

(2)はよく知られた言い方だが、(3)のような語法はあまり知られていないのではないだろうか。

【→G5, *from* 語法】

次に、代名詞の *it* と *one* の使い方の違いについて触れてみたい。

一般に、「the + 名詞」は *it* で、「a(n) + 名詞」は *one* で受けると言われている。これは基本的に正しいが、「a(n) + 名詞」が特定性を表す場合があり、その時には *it* [*he*, *him* など] が用いられるという事実を知っておく必要がある。

- (4) A boy came running toward me. *He* [The boy] was breathless.

特に *want*, *look for* などの動詞(句)に「a(n) + 名詞」が後続する場合には、特定性についてあいまいになり、文脈により *one* でも *it* [*he*, *him* など] でも受けることができるが、こういう情報も貴重である。

例えば、次の(5)は特定の男性を念頭に置いての発言ではないので *one* で呼応し、(6)では特定の男性の存在が前提となっていて、その人を頭に浮かべての発言なので *he* で呼応している。

- (5) She wants to marry a tall handsome man if she can find *one* [×*him*].
(6) She wants to marry a tall handsome man: *he* lives in Tokyo.

【→G5, *a / one*】

◆英語の変化に気づく

この語法の変化の例としては *recently* と *late-ly* が適切だろう。

recently は「現在より少し前のある時に起きた一回限りの行為」に言及するので、通例、現在完了形(完了・結果用法)か過去時制と共に用い

る。ところが, 以下に見るように時に *recently* を現在時制と共に用いる人がある。ただ, 今のところは使わない方が無難である。

(7) **Recently, I go to church.*

(8) **She is recently divorced.*

(7)では *these days* か *nowadays* を使い, (8)は *She got divorced recently.* と言うのがふつうである。

また, *recently* を *lately* と区別しないで, 次のような使い方をする人がかなり増えてきている。ともに本来は *lately* が正しいが, これは確立した語法として認めざるを得ないだろう。

(9) *I have been feeling much better lately [recently].*

(10) *I've seen a lot of them lately [recently].*

lately は「少し前から現在までの間に継続している行為か反復されている行為」に言及し, 時間的には *recently* よりも現在に接近していて, 通例, 現在完了形 (継続用法) か現在完了進行形と共に用いられる。ところが, 時に *lately* を過去時制と共に用いる人がある。ただ, 英語学習者としては *recently* を使っておくのが賢明だろう。

(11) **She had a baby lately.*

また, *lately* を *recently* や *these days* と区別しないで, 次のような使い方をする人がかなり増えてきている。これは確立した語法として認めてもよいと思われる。

(12) *I have returned from Canada lately [recently].*

(13) *She is looking good lately [these days].*

以上は肯定文の場合であったが, 否定文や疑問文では *recently* と *lately* はほぼ同義で用いられることが多い。これも見逃せない事実である。

(14) *I haven't eaten at the restaurant recently [lately].*

(15) *Have you seen any movies lately [recently]?*

【→G 5, *recently* 語法 / *lately* 語法】

◆間違って教えられたことを繰り返して教えない

この具体例として, ここ数年の間に学生から出された質問を2つ取り上げることにしたい。

Q 1 関係詞の先行詞は限定されているから必ず *the* がつくのでは?

これは正しくない。関係詞の先行詞の冠詞に関しては, 一般に言われている *a(n)* と *the* の区別が適用できる。つまり, 簡略化して言えば, *a(n)* に続く名詞は「複数存在するものの1人 [1つ]」を表し, *the* に続く名詞は「1人 [1つ] しか (い)ない」ことを表す, ということである。

次の(16)では「ベンは不平ばかり言うタイプの人間のうちの1人である」ことが述べられ, (17)では「オバマ大統領の生まれた都市」は当然1つなので *the* が用いられている。

(16) *Ben is a man who is always complaining about something.*

(17) *Honolulu is the city where President Obama was born.*

なお, 前述の *it* と *one* の問題に関連して言えば, 次の(18)の先行詞 *a computer* は文脈により特定の1台のコンピュータを指すので, *buy* の目的語には *one* ではなく, *it* を使うことになる。

(18) *Sue saw a computer that she liked and bought it [×one].*

【→G 5, *that*³ 語法】

Q 2 未来を表す進行形で使える動詞は往来発着の意味の動詞だけでは?

これも誤解である。確かに往来発着の動詞が多いことは否めないが, 次のように未来を表す副詞 (句) を伴えば他の動詞でもまったく問題はない。

(19) *I'm having dinner with him tonight.*

(20) *What are you doing this summer?*

【→G 5, *be*】

このような質問を受けるたびに, まだまだ私が習った頃の英語が教えられていると実感する。

(かしの けんじ・大阪樟蔭女子大学名誉教授)